

学校教育目標	夢と希望をもって、心豊かにたくましく生きる児童の育成
育成を目指す資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ○生きた知識・技能を身に付けた児童の育成 ○自ら考え、判断し、協働的に解決する児童の育成 ○ともに向上しようと挑戦を続ける児童の育成

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<p>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語: 目的に応じた文章を書くこと。 ・視点や条件を与えた文章を書く力が弱い。 ○算数: 複数の情報から必要な情報を見つけ出すこと。 ・文章、表やグラフ、資料を読み取る力や資料を比較して考える力が弱い。 	<p>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○記述の時間の保障と記述方法の指導の充実が必要。 ○お互いに考えを話したり、聞きあったりする場が必要。 ○文章や資料を読み取らせる時間の保障と読み取り方の指導方法。 ○学習内容をつなげる授業(既習内容や前時の振り返りを生かす)を進めることが必要。
	<p>これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び合い学習などにより、伝えることへの意欲は高まってきたが、伝える力の中でも「書く力」に課題がある。書くことに抵抗のある児童や、様々な課題に対する自分の考えをもてても、条件に合わせて書く経験が必要な児童もいる。 ・学び合い学習に加え、ICTを活用した協働的な学びを進めていく中で、人とかかわりをもてるようになってきている。 	
指導の状況	<p>1 組織的な授業改善の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の自力解決・振り返りを中心に、考えを書く場を設定するとともに、書く内容と順序について児童の状況や発達の段階に応じた指導を行った。 ・個に応じた指導法の工夫や教師の授業力向上に向け、校内研修の提案授業を基に、授業改善の方策を協議し、共通理解を図った。 <p>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春日タイムの基礎・基本の定着、ICT機器を活用した補充学習、家庭と連携した家庭学習指導等、個に応じた指導の充実にむけた取組を継続している。 ・お互いを認め支え合う学校・学級集団づくりを目指して、「人間関係づくりプログラム」等、子ども一人一人の心の安定を図る取組を充実させた。 	

学力に関する達成指標

- 「単元末テストで80点以上の児童の割合を75%以上、50点未満の児童の割合を10%以下にする。」
- 「児童アンケートで『学校が楽しい』と答える児童のうち「とても楽しい」(A評価)の割合を70%以上にする。」

今後の具体的な取組	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
	<p>〈授業改善のテーマ・重点〉</p> <p>「互いに認め合い、主体的に学ぼうとする児童の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の4つの視点を生かした授業研究 ・自分の思いや考えを書く、説明する活動の意図的設定 	
	<p>〈取組内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春日タイムの活用と授業での自力解決・振り返りにおいて、相手・目的・順序などを意識して書く指導を行う。 ・授業の目的・課題解決に合った話し合いの場を設ける。 	<p>〈家庭・地域の取組内容〉</p> <p>「学習のきまり」をもとに、家庭学習について家庭での声かけをする。</p>
	<p>〈取組指標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業中、1回以上書く活動を取り入れ、継続している」と答える教員の割合を90%以上 ・学び合い学習において、「お互いの考えを伝え合う場を工夫している」と回答した教員の割合を90%以上 ・授業において、「わかりやすい授業を目指してICT機器を活用した」と回答する教員の割合を90%以上 	<p>〈家庭・地域の取組指標〉</p> <p>家庭学習の習慣をつける。 学習環境づくりに心がける。 (時間・場所)</p>
	<p>〈検証指標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業中、自分の考えをもつ(ノートに書く)ことができている」と回答する児童の割合を80%以上 ・「授業は楽しく、わかりやすい」と回答する児童の割合を85%以上 ・「お家での勉強(宿題など)をしている」と回答する児童の割合を90%以上 	<p>〈家庭・地域の検証指標〉</p> <p>「子どもは、家庭学習の習慣がついている」と回答する保護者の割合80%以上</p>
<p>【授業改善以外の学力向上の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが知恵を出し合い、自分たちで解決する機会・場の導入 ・デジタルドリルを活用した弱点克服のためのスキル学習 ・「読書タイム」を中心とした読書活動、図書館利用の推進 ・様々な条件に合わせて視写したり書いたりする「作文チャレンジ」の取組 ・ICT教材を活用した学習内容の提供 ・朝活「春日タイム」を活用した基礎基本の定着 		